

琵琶湖河川事務所は、平成27年9月関東・東北豪雨を受けた「避難を促す緊急行動」の一環として、琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会において、首長への説明に先立って地方公共団体職員に向けて説明を実施しました。

関東・東北豪雨においては、茨城県常総市で約1万1千棟が浸水するなど甚大な被害が発生しました。

今回の水害を受け、国土交通省では、①堤防決壊に伴う氾濫流による家屋の倒壊・流出、②地方公共団体による避難判断・広域避難、③避難の遅れと長時間・広範囲の浸水による多数の孤立者の発生、を対処すべき主な課題と捉え、全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの住民の方々の不安や懸念に応えるため「避難を促す緊急行動」を実施することとしました。

概要

○琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会 担当者会議

○日 時：平成27年10月14日（水）
10:00～12:00（このうち当該説明は40分）

○参加者：地方公共団体職員 13名



【説明状況】

（ご説明した内容）

- ・ 関東・東北豪雨に係る被害及び復旧状況等について
- ・ 野洲川における洪水に関する防災情報について
野洲水位観測所における設定水位
洪水時の情報提供
市町村向け川の防災情報
洪水予報の概要
野洲川浸水想定区域図とハザードマップ
想定決壊地点別の氾濫計算
重要水防箇所・危険箇所・特定区間
守山市タイムライン
- ・ 災害時にトップがなすべきことは・・・
- ・ 水害対応チェックリスト
- ・ 水防法改正を受けた「野洲川浸水想定区域」の見直し

<ご意見>

- ・ 何時間前に何をすべきかというタイムラインは市役所内の部局間の整合が取りづらい。どのような水位になれば何をすべきかという「水害対応チェックリスト」の方が利用しやすい。
- ・ 中小河川ではどこが危険な箇所（重要水防箇所）なのか分かっていない。
- ・ 関東・東北豪雨を踏まえ、堤防沿いの住民は垂直避難で良いのか検討する必要があると気付かされた。

避難を促す緊急行動



被災した場合に大きな被害が想定される国管理河川において、以下を実施

1. 首長を支援する緊急行動

～市町村長が避難の時期・区域を適切に判断するための支援～

【できるだけ早期に実施】 **今回実施**

- トップセミナー等の開催
- 水害対応チェックリストの作成、周知
- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 氾濫シミュレーションの公表
- 避難のためのタイムラインの整備
- 洪水予報文、伝達手法の改善
- 市町村へのリアルタイム情報の充実

2. 地域住民を支援する緊急行動

～地域住民が自らリスクを察知し主体的に避難するための支援～

【できるだけ早期に実施】

- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知(再掲)
- ハザードマップポータルサイトの周知と活用促進

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 家屋倒壊危険区域の公表
- 氾濫シミュレーションの公表(再掲)
- 地域住民の所在地に応じたリアルタイム情報の充実

琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会

協議会では今後も、内水氾濫を考慮した避難計画や住まい方のルール等を引き続き検討していく予定です。

○目的：大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市を対象として、専門的な学識経験等に基づく助言をいただきながら、琵琶湖沿岸及び野洲川等の洪水被害及び土砂災害の回避・軽減を目指し、流域の住民自らが被害を回避・軽減できるような各種の流域対策について検討を行う。

○設置：平成16年8月

○事務局：国土交通省琵琶湖河川事務所調査課、滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室、大津土木事務所、南部土木事務所

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課
077-546-0867

